

講義名	栄養指導論Ⅱ
開講学年	2
単位	2

授業の達成目標	<p>1. 各ライフステージの特徴、食生活上の問題や課題について理解を深め、それぞれに適した栄養アセスメントや栄養教育（指導）方法を習得する。</p> <p>2. 傷病者、障がい者、アスリートの栄養の特性を理解し、栄養教育（指導）プログラムの検討ができるようになる。</p>
授業の概要	栄養指導論Ⅰにおいて学習した内容をふまえ、各ライフステージの栄養指導（教育）方法を学ぶ。
授業形式	講義（事例検討，実践も含む），パワーポイント（スライド）を使用する

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	栄養教育に活用する基礎知識と教材	食事摂取基準，わかりやすい食事チェック教材，健康・栄養教育教材として活用する指針・知識，栄養成分表示	食事摂取基準 教材，指針 栄養成分表示
2	妊娠、授乳期	妊娠、授乳期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	DOHaD 過剰摂取と摂取不足 産後うつ
3	乳児期 -乳汁栄養-	乳児期の特性と留意事項 乳汁栄養法（種類と留意点）	母乳栄養，人工栄養
4	乳児期 -離乳期栄養-	離乳期栄養（授乳・離乳の支援ガイドから） 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	離乳食の進め方 栄養指導の進め方
5	幼児期	幼児期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	食べる意欲，食の体験 食に関する問題行動
6	学童期	学童期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	肥満とやせ，朝食欠食，孤食，食育
7	思春期	思春期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	栄養摂取量，肥満とやせ，ボディイメージ

8	成人期-1	成人期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	生活習慣病（肥満とやせ）、運動習慣と身体活動、睡眠、更年期と更年期障害
9	成人期-2	成人期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	特定健診・特定保健指導、階層化
10	高齢期	高齢期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	食事摂取基準（2020）低栄養予防のための食生活指針 介護保険制度
11	傷病者	傷病者の健康・生活の特性 医療と保健・福祉の連携による栄養教育 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	栄養食事指導料 栄養教育実施上のポイント
12	障がい者	障がい者の栄養教育プログラムの検討 障がい者の定義と現状、栄養教育の留意点 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	障害者基本法 ノーマリゼーション
13	アスリート	アスリートの特性と栄養教育 成長期のスポーツ栄養 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	スポーツ栄養マネジメント、準備期、調整期、休養期
14	活動分野で行う栄養指導（教育）	栄養士の活動分野の特性と栄養教育の進め方	病院、福祉、学校、行政の栄養士の役割
15	栄養指導論Ⅱのまとめ	単元のポイント（復習）と質疑応答	

（※：2～14回はライフステージ・ライフスタイルからみた栄養教育の実際について授業を行う）

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物と*授業態度 10%、学期末テスト 90% *授業や演習の取り組み態度、忘れ物、私語、不必要な携帯電話の使用など、 問題のある場合減点とする 評価基準は合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点：A、75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、59 点以下：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2/3 未満の場合は評価をせざるに不合格とする。
教材	栄養教育論：医歯薬出版 適宜、資料、プリントを配布する